

令和7年度職員採用試験（大学卒業程度）
畜産一般 専門記述試験

＝ 課 題 ＝

○広島和牛肉のブランド力向上・維持を支える繁殖雌牛の改良について

和牛はその肉質の良さで、世界最高の肉牛種の一つとして親しまれています。

広島県は和牛のルーツとなる4つの血統の一つの発生地で、県ではその系統を大事に守り育てた繁殖雌牛の改良を行っています。

国内和牛肉は、1993年のガット・ウルグアイラウンド農業合意による牛肉の輸入自由化以降、輸入牛肉との差別化を図るため脂肪交雑（肉の中の霜降り度合い）に重点をおいた改良を行ってきた結果、最高品質とされるA5ランクの生産率が飛躍的に増加（1989年24.2%⇒2023年67.0%）した一方で、現在は健康志向が高まったこともあって、一部の消費者からは「脂肪が多すぎて食べられない」といった声も出てきました。

しかし、依然として脂肪交雑の高いものが市場で高値取引されることから、生産現場では脂肪交雑を重視した繁殖雌牛の改良が続けられています。

また、脂肪交雑の能力が高い特定の種雄牛や系統に利用が集中した結果、将来の改良に必要な遺伝的多様性の減少や、母牛が子牛を産む能力である繁殖性の改良が進んでいない、などの課題が生じています。

このような状況の中で、今後の広島和牛肉のブランド力向上・維持を支える繁殖雌牛改良の目指すべき方向性について、あなたの考えを述べなさい。